

やりがいのあるロータリークラブ
活動を実践しよう!

第2127回例会 令和4年11月7日

本日の例会プログラム 第2128回例会 令和4年11月14日

会員卓話

中川英治 会員
野田一孝 会員

会長挨拶



皆さんこんにちは。

11月はロータリー財団月間とともに世界インタークト週間にになります。この世界インタークト週間は毎年11月5日を含む1週間であり今年度は11月5日から11日の期間になります。当クラブでは鵬翔高校が該当しますが、ロータリークラブの支援を受けて、友だちと一緒に楽しみながらロータリーの「超我の奉仕」の精神から行動力などを身に付けていただこうとするものであります。

ここで自分が知らない言葉が出てきました。言葉の表現から、自分を考えずに奉仕する気持ちと推測されますが、違ったらどうしようの気持ちもあり、調べてまいりました。この標語の誕生のきっかけは1911年オレゴン州ポートランドにおける全米ロータリークラブ連合会の第2回大会で、ミネソタ州ミネアポリスロータリークラブがクラブで採用していた、「無私の奉仕」を当時のミネアポリスロータリーの会長であるベン・コリンズの演説によるものであり、この言葉は熱烈に歓迎されたものであるそうです。その言葉が修正され、1950年のデトロイトで開催された国際大会で修正されたものであるそうです。調べていくうちに、自分は知らなかった、知ろうともしなかったことに対し、少し、ばつが悪い気がしております。

さて、現在ロータリーには二つの標語があります。多分先輩たちは私にもどこかで、教えてきたのでしょうか、感受性の乏しい私には響いてこなかったのであろう、当然私以降の入会の

11月の月間 ロータリー財団月間

出席委員会報告

池田靖洋委員長

●出席状況

本日状況		前々回修正出席状況	
会員数	(51) 52名	マークアップ数	1名
本日欠席者数	20名	修正出席率	68.63%
本日出席者数	32名	マークアップされた方	安川 潔会員
出席率	62.75%		
ニコニコ BOX	0件 累計 42,000円	募金箱	5,744円 累計 78,080円

人にも、伝わる人、伝わってない人もいるかとは思いますが、後者に該当する人に対して、ロータリーには標語が二つありますと再度伝えたいと思います。

第一標語は「超我の奉仕」です。意味は日本語で感じの表現で理解しましょう。

折角ですのでもう一つに関しても、頭に入れていただければと思います。

もう一つの標語は「最も奉仕するもの、最も多く報いられる」です。

今週もよろしくお願ひします。

幹事報告

田口幸登幹事



- ・次年度2023～2024年度地区補助金申請の期限が12月末日となっています。
- ・2021～2022年度地区大会の記念誌が届いています。

- ・鹿児島城西ロータリークラブの連絡先変更の案内が届いています。
- ・2022年11月度の国際ロータリー為替レートは1\$=148円となっています。

親睦委員会

日高安隆委員長



- ・宮崎南RCゴルフコンペの御案内
 - 日時 令和4年12月11日(日)
 - 集 合 8時30分
 - スタート 9時05分
 - 場所 ハイビスカスゴルフクラブ
- ※11月28日(月)までに出欠のご回答をお願い致します。

●結婚月

岡崎勝信会員、中原捷博会員、山地久守会員、井野元孝洋会員



●誕生月

大迫三郎会員、丸山一郎会員、戸高勝利会員、長澤好太郎会員、柳田勝人会員



●米山奨学金授与式



ワン イハン様

ロータリー財団委員会 卓話

山地久守委員長



今月は、ロータリー財団月間です。財団委員長として卓話をしたいと思います。多くの国民が好きなものに、また、流行りなのか、ポイント、或いは、クーポンというのがあります。また、お得感という言葉もよく耳にします。これには、若干の違和感を覚えています。ポイント獲得のため、クーポンを得るため、移動や行列に並んだり時間要する訳で、これはほんとにお得なのか？

また、一店舗でいろいろなポイントやクーポンがあります。どれを使うと得か分かりません。ポイント付与のために多額の公金（税金）が投入されていることもあります。例えば、マイナポイント（2万円）。ただし、4割（6000億円）の予算が余る見込みだそうです。マイナンバーカードが普及しない問題点（普及しない理由＝ポイント）がずれているように思います。以前の報道番組のニュースキャスターと解説者のポイントを巡る取り取り、ポイントという言葉が飛び交い、報道内容のポイントが不明に！税制上の国税と大手スーパーとの訴訟問題も報道されています。

（本題に入ります。）ロータリ財団の活動に対する理解、協力を願いしたい。要は寄付をお願いし、また、地区補助金を利用して活動して欲しいと願っています。寄付をして頂いてもポイントは付きませんが、税制上の優遇措置はあります。

ロータリー財団では、「ロータリー財団の使命は、ロータリー会員が、人びとの健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保護に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすること」と定めています。お得感はないかもしれません、使命を達成したという満足感はあるのではないかと思います。

ロータリー財団は、先ず、ポリオの撲滅に取り組んでいます。野生型ポリオウイルスの常在国は、アフガニスタンとパキスタンのみです。

それから、当クラブで地区補助金を使った活動ができないか、各委員会で財団の使命に叶う活動はできないか、今一度検討して頂きたいと思います。次年度地区補助金申し込みは12月31日までです。当クラブは、4年前から、タイ国チェンマイ県オムコイ郡の医療従事者養成奨学金事業を実施しています。この活動も終盤に差し掛かっており、資格取得も間近であると思っています。また、付随的に、周囲に看護師志望者がいると聞いており良い影響を与えていると思います。当クラブにとって誇らしい活動ではないかと思っています。

最後に、寄付には、年次寄付（一人年間150ドル）、恒久基金（ベネファクター・1000ドル）、ポールハリスフェロー（1000ドル）というがあります。皆様にお配りしている寄付用の封筒を開けて頂き、寄付金を入れて頂くことで寄付が完了します。どうかよろしくお願い致します。

補助金について

ロータリー財団の補助金は、クラブや地区が提唱するさまざまな奉仕プロジェクトのほか、奨学金や職業研修を支えています。

補助金の種類

地区補助金

地区補助金は、一括で地区に支払われ、地元や海外のニーズに取り組むために使用できる補助金です。地区は毎年、ロータリー財団の使命を支える地区やクラブの活動（職業研修チーム、奨学金、人道的奉仕プロジェクト、青少年プログラムを含む）を支えるために、使用可能なDDF（地区財団活動資金）の50パーセントまでを地区補助金として申請できます（一年に一口のみ。10ページの「年次基金（シェア）」も参照）。

グローバル補助金

グローバル補助金は、戦略的な観点から大きな影響をもたらす、地区やクラブの活動に使用できる補助金です。大規模で国際的な人道的プロジェクト、職業研修チーム、奨学金（修士課程または博士課程）のために活用でき、重点分野（6ページを参照）のいずれかにおいて、持続可能かつ測定可能な成果をもたらすことが求められます。

ロータリーでの「持続可能性」の定義：

ロータリーでは「補助金資金がすべて使用された後にも、地域社会の人びとが自力で地元のニーズを満たしていくよう、長期的な解決策を提供すること」を意味します。

グローバル補助金プロジェクトの最低予算は30,000米ドルです。補助金提唱者は、地区財団活動資金（DDF）、現金、冠名指定寄付と恒久基金の収益を組み合わせてグローバル補助金に充てることができます。

財団は、すべてのDDF寄贈に対し、その80%相当分のWFを上乗せします。WF上乗せの上限額は400,000ドルです（下限額はありません）。現金拠出にはWFからの上乗せがありませんが、現金でグローバル補助金の資金を調達できます。グローバル補助金の提唱者が現金拠出金を財団に送る場合、手続きにかかる費用として5%を追加して送金する必要があります。グローバル補助金はすべて、二つのクラブまたは地区が提唱しなければなりません（活動の実施国内と実施

国外からそれぞれ一つずつ）。

グローバル補助金の計画を立てる際、提唱者は実施地の切迫したニーズを把握し、地域で利用できるリソースを調べるために、徹底した地域社会調査を行う必要があります。また、プロジェクト立案の際に参照した調査結果を、グローバル補助金の申請書に含める必要があります。計画段階では、地元のロータリー会員やプログラム学友から貴重なアドバイスを得ることができます。

ロータリー情報委員会

大迫三郎委員長



ロータリー財団月間に寄せて
元ロータリー財団奨学生中山理先生講演（麗澤大学前学長）が11月号ロータリーの友誌に掲載されています。その一部を紹介します。

題「人との出会い 人とのつながり」

◎海外の人との出会いはロータリー財団プログラムがきっかけ。

◎日本の社会に根付く道徳観と絆。

「本日のテーマ三本柱」

1番目 ベトナム・ホーチミン市国家大学とのコラボレーション。

2番目 アメリカ・ボストン大学でのシンポジウムからの出会い。

3番目 ダライ・ラマ14世との出会いの経験。

第一 人生百年の時代。一生好奇心を持って学び続けよう。

江戸時代の儒学者佐藤一斎の言葉。

「少にして学べば即ち壯にして為すこと有り。壯にして学べば即ち老いて衰えず。老いて学べば即ち死して朽ちず」

第二は「楽しんで学ぼう」

論語から「之を知る者は之を好む者に如かず。之を好む者は之を楽しむ者に如かず」

第三はウェルビーイング（well-being）

「持続的幸福感」＝「主観的幸福感」

自分の能力を発揮。健全な自己への信頼感。

自分への自信、自発心、自尊心。

日本の中高生の自尊心を発揮させたい。自己的の能力を使ってなすことが社会の役に立つ時、その時に真の喜びが生まれる。